

## **令和7年度淀川区区政会議 第1回コミュニティ力向上部会 議事要旨**

日 時：令和7年9月18日（木） 午後6時30分～午後8時00分

場 所：淀川区役所 6階 会議室

出席者：

- ・委員（9名中8名出席）

大屋委員、鈴木委員、西尾委員、西岡委員、西垣委員、湊委員、森委員、山本委員

- ・区役所

古川区長、畠中副区長、山田総務課長、米田政策企画課長、天野政策企画課長代理、仲谷市民協働課長代理ほか

**内 容：**

1. 開 会

2. 議 題

（1）将来ビジョン2029（素案）について

（2）「防災を通じたコミュニティ力の向上」をテーマとした意見交換

（3）区政会議におけるご意見への対応方針について

3. 事務連絡・その他

4. 閉 会

**資 料：**

【当日配付資料】

・次第

・委員名簿及び座席表

・よどマガ！9月号

・淀川区区政会議 日程調整表

【事前配付資料】

（資料1）淀川区将来ビジョン2029（素案）

（資料2）新北野地区防災計画

（資料3）区政会議におけるご意見への対応方針

## 1. 開会

## 2. 議題

### (1) 将来ビジョン 2029 (素案) について

○資料1について説明（米田政策企画課長、吉國市民協働課長）

#### ○意見等

・経営課題3-②について、十三駅で東西が分断されおり、東西の往来が困難である。（森委員・鈴木委員）

・経営課題3-①について、地域行事に参加する若い人は増えているが、運営や準備に関わる人が少ないという課題がある。（西岡委員・西尾委員）

・経営課題3-②について、十三エリアのバーベキューエリアや屋台などの整備について、長らく進展が見えない。（西岡委員）

・経営課題3-①について、区画整理などの影響で空き家が増え、単身向けマンションが多く、若い単身者が増えているが、家族世帯は減少している。（大屋委員）

・2025年ビジョンでは4本の柱から、「区民が利用しやすい区役所づくり」が消えて3本になっている点について説明してもらいたい。（湊委員）

⇒将来ビジョン2025にありました、4つ目の柱「区民が利用しやすい区役所づくり」につきましては、区民の立場に立った区政運営や窓口サービスの向上について掲げ、これに基づき運営方針も策定しておりました。そのアウトカム指標の達成状況につきましては7月の区政会議において達成済みである旨を報告させていただいております。また、この柱について内部で議論した結果、この柱はビジョンとしてめざす将来像ではなく、区役所として最低限実現すべきことであるとの位置づけということになりました。すでに取り組みを重ね一定のステップを踏んできていることもあり、今回ビジョンから外させていただきました。（米田政策企画課長）

「めざす状態」という表現は曖昧であり、何らかの数的な目標指標も設定した方がよいのではないか（湊委員）

### (2) 「防災を通じたコミュニティ力の向上」をテーマとした意見交換

○（資料2）新北野地区防災計画を用いて説明（西尾委員）

○意見等

・新北野地域の防災計画冊子は文字が大きく分かりやすい。自分の地域では学校と一緒に防災訓練の実施や、住民同士の交流や情報把握が難しく、防災活動や避難に不安がある。（大屋委員）

・加島地域でも防災計画を策定中で、危険箇所を地図化しハザードマップも作成した。防災訓練への参加が少ないため、日曜参観日にあわせて親子で参加できる訓練を実施したが、一部保護者から否定的な意見があった。防災意識の向上に課題がある（西岡委員）

・廃校を日常的に地域住民が集える施設として、バザーやカフェ、レンタルオフィス等で収益事業も取り入れつつ持続的に運営し、災害時には防災拠点として活用してはどうか。（鈴木委員）

・防災月間などの機会を活かして備蓄量や自助の重要性を積極的に発信し、住民の理解と防災訓練参加等を促すことが大切であると考える。今後、さらなる啓発活動に取り組んでもらいたい。（湊委員）

（3）区政会議におけるご意見への対応方針について

○資料4について説明（米田政策企画課長）

○意見

ヤングケアラー相談窓口の見取り図については、事例や具体的な流れを入れることで分かりやすくなると思う。ヤングケアラーにかかる市民等への啓発活動についても具体的な実例を挙げてほしい。（鈴木委員）

3. 事務連絡・その他

令和7年度第2回淀川区区政会議全体会議の案内

○意見

なし